福岡大学同窓会紙
(編集・広報委員会)

有信

有信会のアドレス
http://www.yushin.jp/

Eメール
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

有信会の一般社団法人　移行

認可申請は会員大会後

一般社団法人への移行を目指す有信会（川畑懿子理事長）は二月九日に開いた理事会で、認可申請を六月十六日（土）に催す会員大会後に行うことを決めた。定款変更などはすでに昨年六月の代議員総会で承認され、残る課題は有信会の正味財産の額と公益目的の使途に絞られていた。会員大会当日の代議員総会で承認される平成二十三年度決算額で移行認可申請を行い、正味財産を学校法人福岡大学に寄附する。

6／16には櫻井さん講演も　会員大会

櫻井よしこさん

会員大会は六月十六日に福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で行われる。例年と同じようにまず午後一時から支部長会。地域支部六十三、職域支部三十八の各支部長が出席する。継いで代議員総会が午後二時四十五分から。事業報告や収支決算などが審議される。

講演会が午後四時から五時半まで。講師はジャーナリストとして知られる櫻井よしこさん。演題は「今、日本が直面する内外の課題」。一般市民にも開放される。櫻井さんはアジア新聞財団記者、同東京支局長、テレビのニュースキャスターなどを歴任。大宅壮一ノンフィクション賞、菊池寛賞、正論大賞などかがやかずの受賞がある。

懇親会は午後五時四十五分から。母校から衛藤学長ら役職者を来賓に迎えて、川畑理事長のあいさつなどが予定されている。

会員大会スケジュール

開催日	6月16日（土）
場所	ホテルニューオータニ博多 (tel 092-714・1111)
①支部長会	13：00－14：30
②代議員総会	14：45－15：45
③講演会	16：00－17：30
④懇親会	17：45～

本号8頁
2面　栄光の60周年・山岳部
3面　ロンドン五輪にホープ
4面　母校の発展ぶりを実感
4面　学部同窓会総会の日程
5面　支部総会
6面　24年度事業計画書案
7面　24年度収支予算書案
8面　賀詞交換会に190人

建設工事が終わり、ほぼ完成した中央図書館㊧と2号館㊨

相次いで完成へ

中央図書館・2号館

母校創立七十五周年記念事業の一環として建設が進んでいた「中央図書館」と仮称商学部棟の「二号館」が相次いでほぼ完成、一部で引っ越し作業も始まった。いずれも全国の他大学でも珍しい先進的装置が完備され、オープンすれば卒業生の利用機会も増えそう。

中央図書館は三月末竣工。それから三カ月かけて引っ越し作業、七月二日に開館する予定。これまでの図書館が老朽化したため建て替えられた。鉄筋コンクリート地下二階、地上七階建て。床面積は延べ二万四千八百平方㍍。五階までが図書館ゾーンで、六、七階は大学院が利用する。

閲覧室は二、三、四階にある。各階ごとに閲覧図書の分野が決められている。五階は貴重図書だけ。閲覧席は合わせて約二千席。また、視覚障害者のための読書支援室、グループ学習室、多目的ホールなどがある。特筆されるのは、取り出し時間が約三分間という自動書庫。蔵書は最大二百十万冊可能だが、全てコンピュータ管理される。当面は百四十五万冊を運び込み、医学部分館、理学部、工学部、薬学部、スポーツ科学部各分室は現行どおり。

一方、二号館（通称は創立七十五周年記念商学部棟）は地下一階、地上九階建て。延べ床面積は約九千八百平方㍍。商学部四十六ゼミの他にも法学部、経済学部、人文学部もしばらく同居することになり、名称が変わった。二月末に竣工、現在引っ越し作業中。

全国の大学からも注目されているのが教育支援システムとして導入された「レスポンス・アナライザー」。双方向対話型のもので、出席管理・アンケート集計などができる。

スイム・バイク・ラン

㊤崎本さんの得意なスイム
㊥アップダウンが好きというバイク
㊦勝負がかかる最後のラン

山岳会

栄光の60周年を祝う

OBら訓練用壁面を贈る

輝かしい伝統と数々の実績を誇る体育部会山岳部が創部六十周年を迎え、OB会の福岡大山岳会（石橋康治会長）は記念祝賀会を昨年末の十二月十日、母校の文系センター十六階で催した。祝賀会に先立って、OB会から現役部員に登はん訓練用壁面のクライミングウォールが贈られ、第一記念会堂の部室で安全祈願祭も行われた。

山岳部はもともと母校の　トとともに昭和九年に発　断した。同二十六年、福岡前身・福岡高商のスター　足。だが戦渦の広がりで中　商大時代に復活。創部六十周年はここから数えている。卒業した部員数は住所などが分かっているだけで約百四十人。現役部員は少数精鋭の六人。栄光の歴史がある中で、二〇〇五年のギャチュンカン登頂成功は記憶に新しい。

安全祈願祭には約五十人が参加。母校近くの菊池神社から安全を祈るお祓いを受けた。寄贈された壁面は高さ三・一㍍。傾斜角度が一一〇度、一〇五度、九五度の三種類。部室内に組み立てられていて、部員はいつでも練習に利用できる。

このあとOBの植松満男氏が「福岡大学とヒマラヤ」と題して記念講演会も予定されていたが、講師の体調が優れず中止。代わりに一九五九年に母校のヒマラヤ遠征隊が撮った貴重なフイルム「ネパールヒマラヤ」が上映された。

祝賀会では、衛藤学長、小野寺学生部長、川畑有信会理事長が次々にお祝いの言葉を述べた。石橋会長のあいさつ、現役部員の紹介、これまで活躍してきたOB会員への感謝状贈呈などもあった。

栄光の60年を語る懇親会

部室であった安全祈願祭。
左手前は寄贈された訓練用壁面

「還暦を祝う会」を開催

スポ科同窓会の健信会

2期生28人に赤マフラー

スポーツ科学部の同窓会・健信会（田中義孝理事長）が六十歳になった学部卒業生たちを呼んで「還暦を祝う会」を昨年十一月十九日に福岡市中央区の西鉄ソラリアホテルで催した。一期生が対象だった前年に続いての催し。今回は対象を二期生とし、参加者には赤いマフラーが贈られた。同会では「記念行事として毎年続けたい」としている。

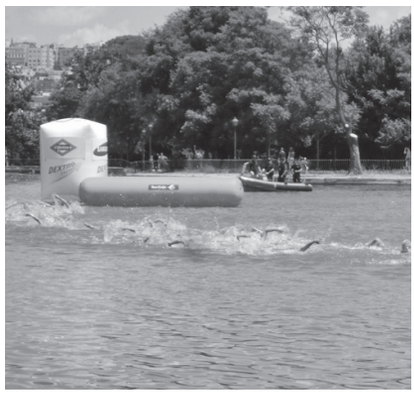
同祝う会に出席した二期生は二十八人。約百人に案内した結果、遠く千葉県や広島県、山口県などからもかけつけた。来賓の名誉教授や現職の教授陣、さらに有信会の川畑理事長らの各来賓、一期生や三期生なども加えて五十数人が参加。

会では、二期生代表の謝辞、来賓あいさつなどのあと、梶山彦三郎名誉教授の乾杯で開宴。全員による一分間スピーチ、お楽しみ抽選会などがあった。三回目の祝う会は今年十一月十七日の予定。三期生と四期生の参加を呼びかけている。

赤マフラーを首に記念撮影におさまる2期生たち

ロンドン五輪のトライアスロン

母校出身のホープ浮上



◇ロンドン五輪◇
近代スポーツ発祥の地・英国のロンドンで七月二十七日に開会式を迎える夏季五輪。この街でオリンピックが催されるのは一九〇八、一九四八年に続いて三回目だ。六十四年ぶり。大会は八月十二日までの十七日間。競技日程によると、トライアスロンはハイドパークを会場に八月四日(土)七日(火)に試合がある。

◇トライアスロン競技◇
五輪でのトライアスロン競技はW杯でのポイント制で世界ランキング八十位以内の選手しか出場できない。女子のレースはスイム千五百メートル、バイク四十キロ、ラン十キロのショートコース。日本選手のライバルは地元英国のヘレン・ジェンキングという。なお、日本国内の競技人口は登録選手だけで約二万人。

今夏開催されるロンドン五輪のトライアスロン競技に日本のホープが急浮上してきた。愛媛県・今治市を拠点に黙々と練習に打ち込む崎本智子さん(29)。同競技は海や湖沼で行われるスイミングに始まり、自転車、ランニングと続く苛酷なスポーツ。だから、選手は「鉄人」とも言われる。期待の崎本さん、実は母校出身なのだ。スポーツ科学部を平成十七年に卒業した。五月末までに五輪代表が決まるが「目標はズバリ本番での金」という。ガンバレ!崎本—。

崎本さんは大阪信愛女学院高から母校に進学。その理由は、高校時代から水泳をしていて、インカレを見に行った時「福大の選手は強くて、格好よかった」。大学でも水泳部に所属。朝は五時半から八時まで、夕方は七時ごろから約一時間ぐらい練習に打ち込んだ。一日に泳ぐ距離は多い日で二万メートルを超えた。

部員約五十人。主に長距離だったが、インカレでは四〇〇メートル個人メドレーがお

崎本智子さん(スポ科H17)

「本番でメダル狙う」

はこ。一年生の時には全国五位入賞の成績も残した。シーズンオフになると、プールに入る前に油山山頂までの往復ランニングにも挑む。泳いで、ランニング好き—そんな評判を耳にした知人から「トライアスロンに挑戦してみたら」と誘われた。卒業前だった。

スイム、バイク、ランを—たった一人での戦いが始まった。特にバイクやランは全くの素人。実家の大阪でアルバイトをしながら独学からのスタートだった。トライアスロンへの初挑戦は平成十七年のアジアカップ東京大会。結果は二十九位だった。だが、翌年の同蒲郡大会では頭角を現し、早くも優勝した。

自転車ロードレースクラブへの練習参加がOKになり、実業団の日本食研(今治市)にも入社した。条件は揃ってきたものの、世界選手権シリーズやW杯シリーズになると力を発揮出来ない日々が続いた。昨年二月、退路を断つため実業団を退社。フリーになった。

十一月、W杯のコロンビア・グアタペ大会、さらにニュージーランド・オークランド大会と連続準優勝した。

年の瀬も押し詰まった昨年十二月二十六日から五日間、母校のプールで泳いだ。一日九千—一万メートル。普段はこれに百—百五十キロのバイクが週二回、月間三百八十キロのランも加わる。身長一五六センチ、四十八キロの小柄な体がいっそう引き締まって見える。

ロンドン五輪での日本の出場選手枠は国別ランキングの結果から三人。北京五輪代表だった上田藍選手はすでに内定。残るは二枠。四、五月に行われるW杯のシドニー、サンディエゴ、マドリード各大会の結果が勝負。今は上田選手とともに日本の強化S指定選手にもなっている。

現在、マネジャー役は実弟の崎本研一氏。研一氏は帝京大駅伝競走部OB。だから、ランのコーチも兼ねている。バイクは元全日本タイムトライアル王者の柿木孝之氏がコーチとして指導している。練習の拠点を今治市に移してから、父親政男さんは徳島市へ単身赴任、母親孝子さんも大阪を引き払って今治市へ。家族が一丸になってサポート。

母校を訪れ談笑する崎本さん姉弟

記者会見する左から串間、石津、黒木の3選手

今年も3人がプロ入り
サッカー部

母校サッカー部から今年も三選手がプロのJリーグやJFLのクラブに入ることになり、母校キャンパスで一月二十六日に記者会見した。母校育ちのJリーガーはこれで四十四人。

三人のうち、DF黒木恭平選手が今春からJ1に昇格するサガン鳥栖、FW石津大介選手はJ2のアビスパ福岡、さらにDF串間雄峰選手はJFL(日本フットボールリーグ)のホンダロックSCでプレーする。

記者会見で三人は熱い活躍を誓った。双子の兄弟で同時入団する黒木選手は「まず試合に出たい」。石津選手は「開幕スタメンを狙う」。串間選手は「仕事もサッカーも」。

八日会で新年祝う
大牟田支部32人が参加

支部設立から五十四年目を迎えた大牟田支部（山田卓幸支部長）は新年八日会を一月十日に大牟田市の料亭・一里で開いた。女性六人を含めて三十二人が参加、賑やかに新しい年のスタートを祝った。

同支部の八日会は毎年奇数月に開催しており、通常の出席者は二十二、三人。この日は約十人も多かった。まず山田支部長があいさつ。「昨年は暗いニュースが続いた。今年はみんなが連携を強めて、よい年にしよう」。全員がひとことスピーチした。

母校と大牟田市が産学官連携して進めている大牟田産学連携推進室の押方利郎教授も、産学連携について語った。自己紹介や近況報告もあり、異業種交流の場になった。八日会の参加希望者は支部事務局の堤峰敏さん（０９０―８３９５―１９２３）へ。

二水会
唐津・呼子を14人で堪能

福岡商大で最後の卒業生の同窓会「二水会」（飯田栄之助会長）は恒例の例会を昨年十一月八、九両日に行った。地元の福岡、佐賀から同伴の準会員三人も含めて十四人が参加。唐津・呼子の観光や料理を堪能した。

二水会のメンバーは昭和三―八年生まれで七十八、九歳以上。同窓生は約百人だが、毎年の総会出席者は三十人前後。今回の例会は一泊二日で西海路探訪を企画した。かつての大陸の玄関口「唐の津」では旧唐津銀行跡、旧高取邸跡、鯨組主中尾邸跡などを鑑賞。また、九電の原子力発電所も見学した。翌日は日本三大朝市の「呼子の朝市」へ。玄界灘の豊かな海、新鮮な魚介類を賞味させてもらった。（井樋）

傘をさしてキャンパスを回る山鹿支部の会員たち

母校の発展ぶり実感
雨の中をキャンパス見学
山鹿支部の13人貸切バスで

設立十周年の記念の総会を昨年七月に終えた山鹿支部（佐藤誠一郎支部長）が貸し切りバス一台を使っての母校訪問を一月二十二日に行った。参加したのは女性四人を含む十三人。朝から冷たい雨が降り続くあいにくの天候だったが、一行は母校の発展ぶりを実感、キャンパスのあちこちで感嘆の声を弾ませた。

同支部が母校訪問するのは支部設立時に続いて十年ぶり二回目。一行は午前八時半に山鹿市を出発。九州縦貫道を通って福岡都市高速に乗り、十時半には母校正門前に着いた。バスを降りて有信並木をくぐり、全員が傘を差しながらの見学になった。

まずは文系センター十六階へ。上空からキャンパス全体を確認した。「ワーッ、校内はビルばかり」「どこがどこか分からん」さらに「油山は？」「向こうに霞むのが福岡ドーム？」。ひとしきり会話が続いた。このあと、旧正門、本館、バラ園、バス停などを見て回った。

参加者の中で最年長の谷崎実さん（商35）は「懐かしいというより珍しいものばかり」。佐藤支部長も「母校が大きくなっていくのは嬉しいですね」。バスは夕刻に山鹿へ帰着した。

筑紫野支部
バンド演奏に和む

筑紫野支部の第十一回総会はこのほど筑紫野市の大丸別荘で開かれた。大学から共通教育センターの田崎茂センター長、筑紫病院の岩下明徳病院長、有信会も川畑理事長が来賓出席。会員も三十三人が参加した。活動報告、会計報告、事業計画など承認。懇親会ではジャズバンドの演奏を聴きながらの懇談となり、賑やかで和やかな交流の場になった。

支部総会の開催記録
（23年12月－24年2月）

支部名	開催日	参加数	本部出席者
長門地区支部	12／3	18	－
愛媛県支部	10	16	大神事務局長
香川県支部	10	23	佐藤副理事長
添田支部	2／5	28	佐藤副理事長
大分市役所支部	8	34	植村理事
浮羽支部	17	32	天野理事
飯塚支部	17	88	川畑理事長
長崎市役所支部	17	32	植村理事

広島支部
忘年会に27人集合

広島支部は「忘年定例会」を十二月二日、広島市のリーガロイヤルホテル広島で行った。会員二十七人が集合。大前支部長が「厳しい経済環境に晒されっぱなしだが、参加諸氏の元気な姿を見て新しい年の安泰を確信する」とあいさつ。初めて参加した中国電力常務取締役の熊谷鋭氏（院工修50）が日本の電気品質につ

添田支部
会員27人集まる

添田支部の第三十五回総者四人を含めて三十四人が出席。新年記念講演として母校法学部の折登美紀教授が行政法を身近に分かり易く解説。引き続いて懇談会を開いた。

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、一年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。履修生は金融・流通、経営、会計、国際ビジネスに関わる五十一科目から受講科目を選択できます。コース修了者には、学校教育法（第一〇五条）に基づく履修証明書（社会人コース修了証）を授与します。一年間で修了できない場合には、一年間の延長も可能です（追加受講料は不要）。平成二十四年度履修生募集については、商学部事務室にお問い合わせください。

「社会人コース」履修生を募集
―商学部第二部

学部同窓会総会の日程

各学部同窓会の二十四年度総会日程が決まり始めた。有信会が一般社団法人へ移行すれば、各学部ごとに代議員選出の母体になることもあって学部同窓会の役割は重要になるばかりだ。日程判明分は次のとおり。

◇

［商大会二十四年度総会］五月十二日（土）午後三時から福岡市中央区の福新楼で。元福大病院栄養部技師長・秀平キヨミさんの講演も。演題は「健康寿命をのばす食生活のポイント」。会費六千円。

◇

［法学部同窓会第八回総会］六月十七日（日）午前十時から母校文系センター。講演も予定。会費五千円。

◇

［医学部同窓会第三十一回総会］七月七日（土）午後五時から福岡市中央区の西鉄ソラリアホテルで。

◇

［経済学部同窓会第八回総会］七月十四日（土）午後五時から福岡市中央区の福岡国際ホテルで。会費六千円。

大野城支部

開催日変更は好評

総会開催をこれまでの七月から変更した大野城支部の第八回総会は昨年十月一日に太宰府市の大蔵で催した。母校から国際センターの武居一正センター長、有信会から川畑理事長と植村理事が出席。会員も三十一人が集まった。来賓から母校の発展ぶりを聞き、有信会との強い連携の説明があった。議案の全てが承認され、懇親会へ。参加者全員が近況報告した。また、総会開催時期の変更は概ね好評で、来年も十月上旬に予定している。

下関支部

大震災へ募金活動

下関支部の二十三年度総会は十一月十八日、下関市内のシーモールパレスに会員七十四人が参加して開催された。来賓は母校の中川誠士・商学部第二部主事と有信会の佐藤副理事長。大学の近況や有信会の活動ぶりを聞き、総会へ。懇親会では恒例のフルーツ争奪抽選会が賑わった。昔の思い出話や新しい出会いに話が尽きなかった。会場では東日本大震災へのお見舞い募金活動も行われ、四万二千九百八十五円が集まった。今回は参加者が大幅に増え「来年は八十人以上の参加を」と確認しあった。二十四年度総会は十一月十六日（金）の予定。問い合わせは事務局（０８３―２３１―４６３６金子まで）。

大阪支部

ハワイアン楽しむ

「関西総会」と銘打った大阪支部総会は十一月十二日、大阪市の道頓堀ホテルであった。大学から川口正幸・就職進路支援センター事務室長補佐ら、有信会からも佐藤副理事長や京滋、神戸、奈良、香川県の各支部長ら総勢五十六人が出席。総会に先立って行っていた講演会に変わって、今年は奈良支部会員が活動するハワイアンバンド「ナーラ」の演奏会を楽しんだ。女性コーラス、ハワイアンダンスチームなどが友情出演。関西で活躍中のプロ歌手・伊勢功一の飛び入り参加もあった。第二部の総会に続いて懇親会。新人紹介やラッキーカード抽選会で盛り上がった。

長門支部

即興なぞかけ

二十三年度の長門支部総会は十二月三日、長門市の湯本温泉ホテル・西京に会員十八人が参加して開いた。総会では事業報告や事業計画などを承認。懇親会は同ホテルの兼安二郎社長（商51）が卒業生とあって海の幸料理がいっぱい。萩山口信用金庫大内支店の川井富徳支店長（経51）が即興なぞかけ。不況の一年を笑いで吹き飛ばし、交流を深めた。

愛媛県支部

監査に2人を選出

愛媛県支部は第十九回総会を十二月十日、松山市のＪＡ会館で開催した。大学から山中博心・人文学部教授、有信会から大神事務局長が出席、会員も十四人が参加した。有信会の一般社団法人への移行に備えて会計監査に池内昭博（経49）、門田和明（工50）の両氏を選出した。来賓あいさつに「小さな支部にも、大きなスピリッツ！」をキャッチフレーズにする香川県支部の第二十四回総会は十二月十日、高松市の全日空ホテルで行われた。来賓として善通寺市の大西智晴市議、有信会の佐藤副理事長、大阪支部役員より母校の近況や在学生の活躍ぶりをきいた。懇親会では、初めて参加した若い会員や久しぶりの会員などが混じって交流を深めた。次回は二十回の記念総会。全員が協力しあって参加者の増加に努力する。

香川県支部

福嶋選手が福大へ

大分市役所支部

森氏が新支部長に

職域支部として活動している大分市役所支部「七隈会」の二十三年度総会が二月八日、大分市のホテルキャッスル大分で開かれた。有信会の植村理事、大分支部の森俊久支部長が来賓出席。会員も新会員三人を含めて三十二人が参加した。支部発足当時から会の運営に携わり、会のリーダーを務めた姫野光則支部長が近く退職するため、新支部長の選出も行った。その結果、新支部長には森裕英氏（商55）事務局長に安東太平氏（経60）が選ばれた。懇親会はさしずめ姫野氏の送別会。会が発足したころの思い出話が弾んだ。豪華景品が当たる抽選会などもあって和やいだ。

会員27人集まる

添田支部の第三十五回総会は新年が明けた二月五日、添田町のめん処味の蔵九ちゃんで行われた。有信会から佐藤副理事長、田川支部からも副支部長ら三人が出席。会員は二十七人が集まった。約二時間半にわたって会員同士の懇親が深まり、田川支部との交流も活発化した。

三十三人が参加した 沼

塚になった

経済環境に晒されてはなし

氏（院工修

50）が日本の電気品質について「電圧が一定、周波数が安定、停電がない」と三点の特色を話して、興味を引いた。懇親会には鹿児島県の離島で暮らす松本章氏（商41）から差し入れられた焼酎二本が披露されてボルテージが上がった。

新年会には34人も

また、同支部は例会兼新年会も二月八日、同市内の鯉城会館で催した。初参加などが出席。会員参加は支部設立以来最少の二十人だった。これは直前になって開催日を変更したり、近県の愛媛県支部総会と重なったためとみられる。しかし、会場は大西市議や高木副支部長のサッカー解説などで盛り上がった。ちなみに地元のＪＦＬ「カマタマーレ讃岐」で昨季のチーム最多得点者・福嶋洋選手が本学へ進学することになった。これまでにもＪ１のアビスパ福岡、Ｕ―22日本代表などで活躍したことがある。

3　広報活動の充実

広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の活動状況や福岡大学の現況などを発信している。さらに「親しみやすく、わかりやすい」広報を目指す。

4　組織の活性化

有信会を支える各学部同窓会、支部および学友会ＯＢ会など組織も整い、これらの組織が有機的に機能することにより行事参加者の増加や異業種間交流の促進が期待される。会員が気軽に有信会活動に参加できる環境や情報を提供できるよう努める。

5　会員データベースの充実と情報の管理体制の徹底

会員データベースは同窓会活動の源になる情報であり、広報・各種案内等に欠かせない。個人情報保護法を遵守して個人データの取得、管理に遺漏のないよう努める。

6　財政基盤の強化と公益目的財産額の使途

①終身会費の徴収と経費節減：少子化時代を迎え、現役学生の終身会費徴収対象者の増加は望めない現状では、経費節減とともに、終身会費納付徹底、事業活動において効率的な運営を行うように努める。本年度新入生からは、在学中に終身会費が全納出来る委託徴収方式に変更する。

②公益目的財産額の使途：一般社団法人移行認可申請にともない、一般社団法人有信会の設立登記日の前日の正味財産額は、内閣府令の定めるところにより公益目的財産額として、学校法人福岡大学に寄附する。

7　各種会議・会合の有効な運営

代議員総会や理事会・委員会などの各種会議を開催し、組織の円滑な運営や活性化に努める。

8　一般社団法人移行認可申請の計画

平成23年度決算額の理事会及び6月16日の代議員総会承認後、移行認可申請を行う。

平成24年度　事業計画書（案）

本年度は、公益法人制度改革三法に従い、行政庁（内閣府）に一般社団法人有信会として移行認可申請のために、理事会・代議員総会に諮りながら、申請を行う。

また、同窓会として従前の事業をベースに若者や女性の参加を積極的に呼び掛け、会員相互の交流の活性化を図るとともに、大学と協議や連携の場を持って、卒業生と母校との絆をより強固なものにするよう努力する。

1　公益活動の推進

・母校への支援を行い、地域社会との連携を深め、公益的活動を実施する。

①会員の人材活用による多面的支援を行う：母校を広く社会にアピールできるよう学友会活動を応援し、母校の広報活動を組織的に支援する。支援ガイダンスなど有信会会員の人材を活用して、在学生の就職進路支援に協力する。

②講演会の開催：6月16日（土）会員以外の一般市民も参加できる講演会を開催する。また各支部総会での地域住民の参加講演会開催を支援する。

③社会福祉活動：有信チャリティゴルフ大会を開催し、福祉施設等への援助を行う。またボランティア活動を推進する。

2　事業活動の充実と会員相互の親睦強化

①在学生との懇談会：5月9日（水）福岡国際ホールで開催する。在学生は準会員であり、卒業後会員となることから有信会活動の後継者として参加してもらう。また、社会で活躍中の多くの先輩と身近に意見を交わし、情報交換・人材育成の場とする。

②会員大会及び支部長会：6月16日（土）ホテルニューオータニ博多で開催する。

③会員懇親会：有信八日会として会員相互の情報交換、懇親・懇談会を開催する。

ボランティアの輪を広げよう
交流会で体験報告

学内外でさまざまなボランティア活動に取り組んでいる学生たちの体験報告会・交流会が昨年十二月二日、母校エクステンションセンターで行われた。「ボランティアの輪を広げよう」と学生たちは熱く語り合った。

会場には学生や教職員など約六十人が集まった。まず講演があり、福岡市の大野敏久副市長が「若者に期待すること」と題して語りかけた。東日本大震災で外国マスコミも絶賛した日本人のマナーを例に「他人のために一歩でも半歩でも踏み出そう。熱い思いはいつまでも持ち続けてほしい」と訴えた。

続いて体験報告会では、大学公認の愛好会・ボランティアサークルが、老人ホームや自閉症の子どもたちを相手にする日常活動を披露した。和太鼓愛好グループ・鼓舞猿も幼稚園や地域での活動ぶりを紹介。最後に東日本の被災地で現地活動してきた百四人の「福大隊」がこれからの活動方針などを示した。

このあと、参加者は交流会へ。夜のふけるのも忘れる程の語り合いが続いた。

活動報告に聞き入る参加者たち

平成24年度　収支予算書（案）

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

単位：千円

科目	予算額	前年度予算額
Ⅰ　事業活動収支の部		
1．事業活動収入		
①財産運用収入		
基本財産運用収入	0	0
特定資産運用利息収入	364	1,120
一般利息収入	7	17
②入会金収入		49,105
③会費収入		
会費収入（1）	89,890	49,105
会費収入（2）	10,000	10,000
④負担金収入	3,475	3,995
⑤有信共益事業収入		
有信八日会収入	4,160	4,160
有信ゴルフ会収入	1,330	1,260
⑥雑収入	60	50
事業活動収入計	109,286	118,812
2．事業活動支出		
①事業費支出		
母校援助費支出	24,960	18,291
広報紙発行費支出	26,044	25,281
ＩＴ事業費支出	3,595	3,595
会員大会費支出	5,365	5,430
レディーズクラブ総会支出	1,317	1,453
講演会支出	2,520	2,020
新年賀詞交換会支出	1,200	1,200
支部援助費支出	12,680	12,200
有信共益事業支出		
有信八日会支出	4,160	4,160
有信ゴルフ会支出	1,330	1,260
事業費支出計	83,171	74,890
②管理費支出		
給料手当支出	13,780	13,691
福利厚生費支出	1,847	1,767
退職金支出	1,917	4,528
会議費支出	3,995	4,889
旅費交通費支出	4,830	5,036
通信運搬費支出	1,720	1,760
消耗品費支出	750	750
印刷製本費支出	2,513	2,895
賃借料支出	1,086	1,085
光熱費支出	180	200
支払手数料支出	300	320
雑費支出	2,070	1,870
管理費支出計	34,988	38,791
事業活動支出計	118,159	113,681
事業活動収支差額	△ 8,873	5,131
Ⅱ　投資活動収支の部		
1．投資活動収入		
①退職給付引当預金取崩収入	1,917	4,528
投資活動収入計	1,917	4,528
2．投資活動支出		
①特定資産引当資産支出		
退職給付引当預金支出	599	780
②固定資産取得支出		
什器備品取得支出	500	500
投資活動支出計	1,099	1,280
投資活動収支差額	818	3,248
Ⅲ　財務活動収支の部		
1．その他の収入		
①前受入会金収入		34,315
②前受会費収入	82,065	34,315
その他の収入計	82,065	68,630
2．収入調整勘定支出		
①前受入会金調整支出		36,960
②前受会費調整支出	67,705	36,960
収入調整勘定支出計	67,705	73,920
財務活動収支差額	14,360	△ 5,290
Ⅳ　予備費支出	3,000	2,000
当期収支差額	3,305	1,089
前期繰越収支差額	64,571	50,719
次期繰越収支差額	67,876	51,808

収支予算書に対する注記

1．勘定科目の統合

「社団法人有信会　会費規則」の改正に伴い　入会金収入に係る勘定科目を廃止し、会費収入に統合した。

2．重要な後発事象

公益法人制度改革三法の施行により、本法人は一般社団法人への移行認可申請を行う。

行政庁（内閣総理大臣）の移行認可を受け、福岡大学同窓会社団法人有信会として法務局への登記に連動して「社団法人有信会」は解散となり、この時点の公益目的財産額（正味財産額）を公益目的支出計画により、学校法人福岡大学へ特定寄附を行う予定である。

3．前期繰越収支差額

平成24年度収支予算書における前期繰越収支差額は、平成23年度決算書（平成24年3月31日）の決算見込額で計上している。

賀詞交換会であいさつする川畑理事長(壇上)

賀詞交換会

来賓含め190人参加

有信会の会員たちが新春の絆を深め合う恒例の新年賀詞交換会が今年も一月十一日に福岡市中央区の福岡国際ホールで開催された。母校から衛藤学長をはじめ多数の来賓を迎え、総勢約百九十人が参加。アトラクションで琉球舞踊が披露されるなど、新年らしく会場は賑やかに華やいだ。

参加者は昨年より約二十人も多かった。東日本大震災や原発事故など昨年発生した暗いニュースを払拭したい気持ちの現れか。主催者あいさつで有信会の川畑理事長は「いよいよ一般社団法人への移行を申請、定款や規則の変更も進める予定です」と会員の協力を呼びかけた。

来賓を代表して衛藤学長は「大学を取り巻く環境はいっそう厳しくなっている。自由化、競争化が進み、大学と有信会の連携・協調が求められる。ぜひ皆様方のご協力を！」とあいさつした。続いて副学長や各学部長など母校の役職者が紹介された。有信会の末永直行、井口政壽両名誉理事長らも姿を見せ、会員たちを喜ばせた。

乾杯のあと懇談。アトラクションで琉球舞踊を披露したのは琉球古典舞踊の師範免許を持っている木村清美さん（体H1）とお弟子さんたち。沖縄のお祝いにつきものの「かぎやで風」「四つ竹」「鳩間節」の三曲を舞った。

なお、母校の新年交歓会は今年から中止になった。

賀詞交換会で琉球舞踊

木村清美さん（体H1）

福岡、佐賀などに5教室

賀詞交換会で琉球舞踊を舞う木村さん

3歳時からリズムしみ込む

「沖縄県立読谷高から福岡大に入学しました。高校ではハンドボール部だったので、それを続けるためでした。それに体育の先生になりたくて、教員免許も取得。平成元年に大学を卒業して一時、沖縄で中学校の教員もしてたんですよ」

「琉球舞踊は三歳のころから。師匠は母（新垣満子さん＝安座間本流大北満之会会主）です。初めは別の先生のところでしたが、小学校に入ってからは母の道場で毎週二回みっちり。リズムが染み込んでます。大学に入ってからは、さぼってました」

「平成三年に結婚しました。相手は学生時代の一年先輩（木村公喜さん＝日本経済大学教授）。長男を出産した後の同五年ごろから舞踊を再開。二十年に琉球古典舞踊の師範免許を受けました。現在、福岡市城南区の本部、宗像、福津、古賀各市、佐賀の五教室を開いています。お弟子さんは約五十人です」

「有信会の会場は雰囲気が明るくて、パワーを感じます。元気があっていいですね」

日曜日に入学式！

昨年から4／1に固定化

えっ、日曜日に入学式？―母校の平成二十四年度入学式が四月一日に行われるが、この日はたまたま日曜日。実は文科省からの授業回数を確保するための方策を検討した結果、どうしても四月一日に固定化しなければならなくなったのだという。昨年から実施。大学当局は「大学によって夏休みや行事などが違うので、他校がやりくりをどうしているか分かりません」。日曜日＝休日という固定観念は捨てねばならない時代のようだ。

◆有信会の主なスケジュール◆

月	日	予定行事
4	1	大学入学式
	中	唐津支部総会
	下	第１回理事会
5	8	大牟田支部総会
	9	在学生との懇談会
	12	商大会（短大、商大）総会
		糟屋支部総会
	中	北九州支部総会
		山口支部総会
		柳川支部総会
		日田支部総会
		古賀支部総会
	下	第２回理事会
6	上	東京支部総会
		熊本支部総会
		伊万里支部総会
		宗像支部総会
		周南支部総会
		福岡銀行支部総会
	16	会員大会 他
	17	法学部同窓会総会
	中	太宰府支部総会
		小郡三井支部総会
7	6	岩国支部総会
	7	沖縄支部総会
		佐世保支部総会
		医学部同窓会総会
	8	筑紫野支部総会
	上	第３回理事会
		広島支部総会
		久留米支部総会
		山鹿支部総会
	14	経済学部同窓会総会
	中	諫早支部総会
		長崎支部総会
		佐賀支部総会
		別府支部総会
		伊都支部総会
	下	八代支部総会
		京滋支部総会

［注］上は上旬、中は中旬、下は下旬

発行所
福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学内
社団法人　有　信　会
郵便番号　814-0180
電話（092）871-6631
FAX（092）863-3668
印刷所
福岡市西区周船寺3-28-1
正光印刷（株）